

一関工業高等専門学校		開講年度	平成30年度（2018年度）		授業科目	総合英語ⅢA	
科目基礎情報							
科目番号	0026			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	一般科目			対象学年	3		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	PRO-VISION English Communication II 数研出版						
担当教員	酒井 紀行,佐々木 智巳						
到達目標							
総合英語英語ⅠA・Bと総合英語ⅡA・Bの内容を踏まえ、さらに高度な4技能の習得を目標とする。 【教育目標】A							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 リーディング		内容を理解したうえで、流暢に音読ができる。		ゆっくりとではあるが、音読ができる。		たどたどしい音読で、内容の理解も伴わない。	
評価項目2 リスニング		ナチュラルスピードの英文の内容が理解できる。		少しゆっくりとした音声の理解ができる。		音声をほとんど理解できない。	
評価項目3 文法・語彙力		テキストに出てくるほとんど全ての内容を理解し、覚えている。		大部分の語彙と文法を理解している。		ほとんど知識がない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	英語学習を通して、多様な価値観に触れ、異文化理解の土台を創ることを目的とする。						
授業の進め方・方法	検定教科書を利用して、多彩な副教材を用いながら4技能の向上を目指す。						
注意点	辞書を携帯し、予習・復習に努める。 【事前学習】予め、学習する内容の中で、分からないことを辞書を用いて調べておくこと。 【評価方法・評価基準】試験100％で評価する。レポートの提出を求めることもある。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	世界遺産について 動名詞・不定詞の用法（1）		動物・心理について There構文・関係代名詞（1）を理解する		
		2週	世界遺産について 動名詞・不定詞の用法（2）		動物・心理について There構文・関係代名詞（2）を理解する		
		3週	世界遺産について 動名詞・不定詞の用法（3）		世界遺産について 動名詞・不定詞の用法（3）を理解する		
		4週	世界遺産について 動名詞・不定詞の用法（4）		世界遺産について 動名詞・不定詞の用法（4）を理解する		
		5週	世界遺産について 動名詞・不定詞の用法（5）		世界遺産について 動名詞・不定詞の用法（5）を理解する		
		6週	絵画・芸術について 関係代名詞・同格（1）		絵画・芸術について 関係代名詞・同格（1）を理解する		
		7週	絵画・芸術について 関係代名詞・同格（2）		絵画・芸術について 関係代名詞・同格（2）を理解する		
		8週	絵画・芸術について 関係代名詞・同格（3）		絵画・芸術について 関係代名詞・同格（3）を理解する		
	2ndQ	9週	絵画・芸術について 関係代名詞・同格（4）		絵画・芸術について 関係代名詞・同格（4）を理解する		
		10週	絵画・芸術について 関係代名詞・同格（5）		絵画・芸術について 関係代名詞・同格（5）を理解する		
		11週	動物・心理について There構文・関係代名詞（1）		動物・心理について There構文・関係代名詞（1）を理解する		
		12週	動物・心理について There構文・関係代名詞（2）		動物・心理について There構文・関係代名詞（2）を理解する		
		13週	動物・心理について There構文・関係代名詞（3）		動物・心理について There構文・関係代名詞（3）を理解する		
		14週	動物・心理について There構文・関係代名詞（4）		動物・心理について There構文・関係代名詞（4）を理解する		
		15週	到達度試験				
		16週	試験の返却と達成度の評価				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3		
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3		
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3		
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3		

			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0